

よいこのえほんシリーズ

はぬけちゃんとおねえちゃん

どきどき
ドキドキ

あなるくつきんぐ

アナルクッキング





たのしい おしりあぐら

◎とうじょうじんぶつ◎



○つばめ _____
チャーむぼいんと
まえはのかけたおおきなおくちがチャームポイント
におんなのこ。^{にいな}ニイナおねえちゃんといっしょに、
^{ぱぱ}パパの『とっくん』をうけているのだ。

^{にいな}
○ニイナ _____
つばめちゃんのおねえちゃん。ちっちゃなころから
^{ぱぱ}パパの『とっくん』をうけている、^{べてらん}だいべてらん。



○ふみの _____
つばめちゃんたちがうまれるまえからの^{ぱぱ}パパの
しりあいみたい。しーめーるじょうおうさま?
なんだって。

○けい _____
ふみのおねえさんのおうちでかわれている
おとこのこ。まだまだ、おべんきょうのさいちゅう。



^{ぱぱ}
○パパ _____
つばめちゃんと^{にいな}ニイナちゃん、^{ぱぱ}パパ。おちんちんや
おしりのあなでのあそびかたをおしえてくれる、
みんなのせんせい。



はねけちゃん

Tsubame's Diary

にっきばん

ピンポーン。
ピンポーン。

「はい、はい。」
「はい、はい。」



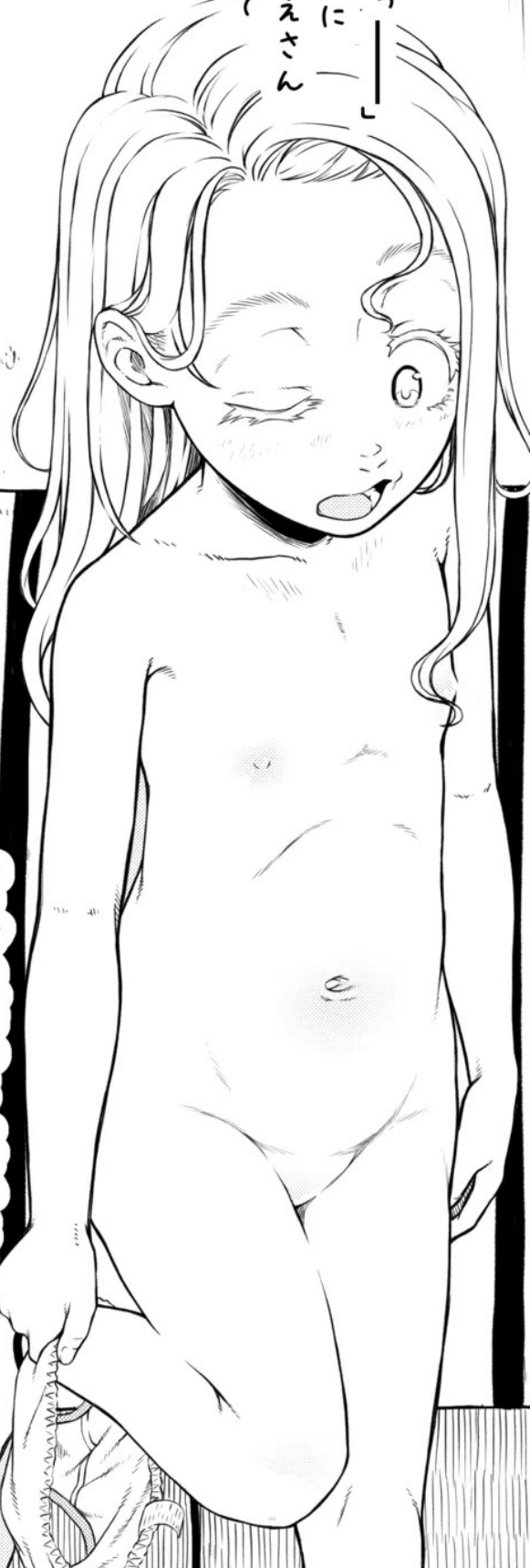
「こんちわっ
ふみちゃん！」

「あらまあっ、げんきねえ
つばめちゃん。
げんかんのドアどあがひらいたとたん、
おおきなかばんばんをもったえがおの
つばめちゃんがとびこんできました。

「じゃまするやでー。
あねのニイナちゃんも
ちいさくてをあげています。

つばめちゃんとニイナにいなちゃんが
あそびにきたのは
ふみのおねえさんのおうち。
おねえさんは、むかしむかし
つばめちゃんたちとおなじように
パパの『とっくん』をうけていた
だいせんはいなのです。←

「そんでね、そんでねえっ——」
つばめちゃんはおへやに
あがるなりふみのおねえさん
とおしゃべりをはじめて
しまいました。



「つばめ、はやくしないと
まにあわない、かも……?」
にいな
ニイナおねえちゃんはいつもとどおり。
にもつをおいたら、すぐにパンツまで
ぬいでしまいます。

そうです。きょうは、ないしょの
けいかくがあるのです。した。
しゅやくのとうじょうまでに
したくをおえないと。←

「おねえちゃん、
よいできたよ。」
おさらとしゃもじをてに
ニイナ
ニイナおねえちゃんのおしりに
こえをかけるつばめちゃん。

ニイナ
ニイナちゃんのみあるいおしり
には、つめたたくひかるぎんいろの
かなぐがくいこんで、おしりの
あなをおおきくひろげています。

ぽっかりとおくちをあけて
うごめく、くらくあついあなから
つばめちゃんはめがはなせません。

「……つばめ。あとはんしゅう
まわしても、だいじょぶ。」

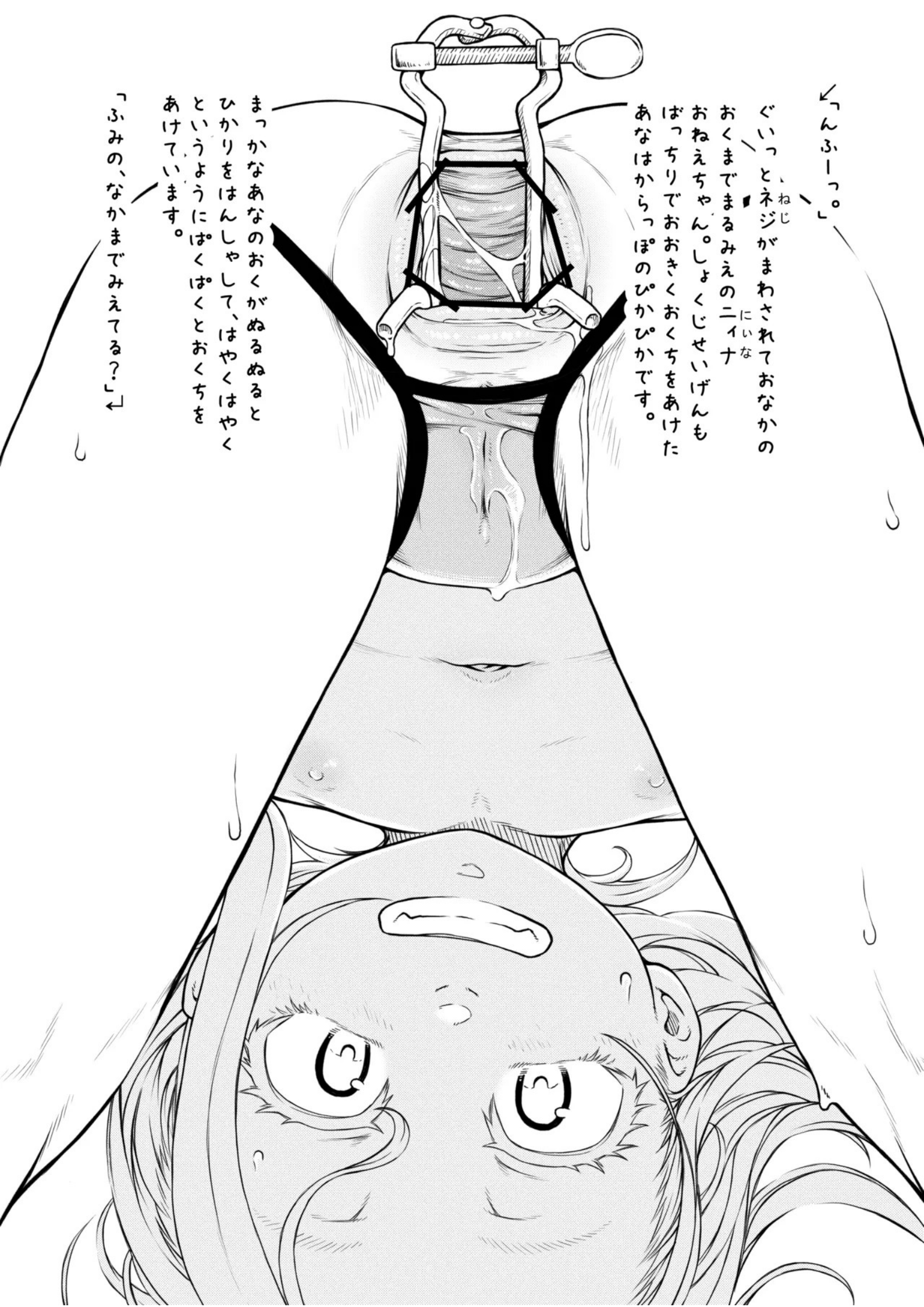


「んふーっ。」

ぐいっとなじがまわされておなかの
おくまでまるみえのニイナ
おねえちゃん。しょくじせいげんも
は「ちりでおおきくおくちをあけた
あなはから「ぽのぴかぴかです。

ま「かなあなのおくがぬるぬると
ひかりをはんしゃして、はやくはやく
というようにはくはくとおくちを
あけています。

「ふみの、なかまでみえてる？」



「……みえてるわよ。
さすがねえ、ニイナちゃん。
ふみのおねえさんはうっとり
みとれたままうなづきました。」

「ほんとすごいわね…。
ねえ、せんせい。」

わたしがあのくらいのころって
どうだったかしら、とむかしを
なつかしむふみのおねえさんに
パパはわらっていいます。

「そりやそうだろ。ニイナはうまれて
すぐにおれがひきとって、ものごころ
つくまえにしこみはじめたんだ。
かいぬしもいねえのにじぶんから
たずねてきたふみのは、なんも
かんもちがいすぎるだろ、と
コーヒーをすすりながらパパは
かたをすくめるのでした。」

「おねえちゃん、
おいしいですか？」

にいな
ニイナちゃんのぬらぬらのあなの
ふちをおはしのさきでゆっくりと
なぞるつばめちゃん。

「……………ん……………」
にいなちゃんかはなにかかった
ちいさなこえをもらすたび
ぴくり、ぴくり、とあながふるえ
おしこまれたごはんを
おしもどそうとしてきます。←



くぐぶっ、くぐぶぶぶっ。

みっちりつまったごはんの
かたまりをおしわけて
なまあたにかいくうきが
あなをふるわせました。

すうすうすう……
はああああ。

おねえちゃんのおまたにかおを
よせたつばめちゃんは
むねいっばいにこうばしい
においをすいこみます。
「……つばめ、さすがに
ちよっとはずかしい。」



ふっくらごはんには、ばんのうねぎ。
にんじん、えのきに、くろごまさん。

よいいしてきたしよくざいが、ニイナ
おねえちゃんのおしりのあなに
つぎつぎとのみこまれていきます。

「ん……ふっ……ん……んおっ！」
しろいおなかかぶつくりとふくらんで、
おねえちゃんのおくちからうわすた
こえがもれました。
「おねえちゃん、ごはんまだ
のこってるよ？」

ごまあぶらをたっぷり
たらしたみぎてを、わきわき
させながら、にっこりわらう
つばめちゃん。

「たっぱ
タツパいっばいによういしてきた
しよくざいがニイナちゃんの
ちいさなおなかをぎゅうぎゅうに
ふくらませていきます。」
「……ね、つばめ。ちょっと
きゅうけいしない?」
「んふ、…どうしよっかなあ。」

ぷるぷるとまあるいおなかを
ふるわせるニイナおねえちゃんを
ながめていると、なんだかつばめちゃん
までおまたがむずむずしてきした。
はふっ、はふっとおさいいきを
くりかえすおねえちゃんはいつも
よりもずるっとかわいくみえます。←

「——えいっ。」
「んおおおおおっ!？」

む「ちりふくらんだニイナおねえちゃんの
おしりのあなに、ぐぼ」とおとをたてて
つばめちゃんのうでがのみこまれました。

「まぜまぜし〜ましょ、まぜぜごはんっ」
「まぜまぜし〜ましょ、おねえちゃんっ」
「きしししっ」

ぐちぐちとしめったおとをたてる
ニイナ
おねえちゃんのおしり。

つばめちゃんはむちゅう
になって、あたたかくて
ぬるぬるのそのあなを
なんどもなんどもほじくり
かえしていきます。←

「……えっと、おねえちゃん……
……しかえし……する？」

かたでいきをするニいなおねえちゃん
におしりをむけて、ゆっくりふりふり
おねえちゃんとおめがあっただけ
ちゃんにはへらとわらうのでした。

「あらあら、つばめちゃんも……
ずいぶんりっぱになつて。
ちいさなおしりがゆるるたび
おまたをつたうしづくに
めをほろめるふみのおねえさん。」

たてにわれた、うすちやいろの
つばめちゃんのあながひくひくと
おくちをあけています。←



「……はあ、はあ……ハッ。
ひやけたおでこにたまのような
あせをかいて、つばめちゃんか
おきあがりました。」

「うう……、ひどいめにあった。」

なぜだかちょっぴりうれしそうな
ようすで、「ぷりぷくらんだおなかを
ふるわせるつばめちゃん。
そのとき、げんかんのほうでガチャリ
とかぎがひらくおとがしました。
がちゃり

「あれ？ かあさま。
らいきやくすか？」



← けいちゃんか、おでかけから
かえってきたようです。

けいちゃんはふみのおねえさんが
ひろってきたおとこのこ。
ふみのおねえさんと『おそろい』に
なるため、^ぱぱ^ぱにとっくんをして
もらっている、つばめちゃんたちの
こうはいなのです。



「おう、けい。じゃましてるぞ。」
ふりかえった^ぱぱ^ぱがかたてを
あげると、けいちゃんはびくりと
ふるえました。
「……っす、せんせい……。」
あのに…なにかもんだいが…?」←



「なんでもねえからおちつけ、と
わらうパ^ぱパのこえに、けいちゃんは
おそろおそろへやをみまわしました。」

「おたんじょうび、おめでと〜!」
「……ん、おめでと。けい。」
「つばめちゃんがニ^にイ^いナ^なちゃん
おでこをよせあい、くすくすと
わらっています。」

「つばめねえさま、ニ^にイ^いナ^なッす
ねえさま……?……ッす。
あ、ありがとうございま……す?」
「こんわくがおのけいちゃんは。
ふたりのおなかにめをやっ
てごくりといきのみました。」

「そうそう、そうなの。
それで、このこいたら
がまんできずにおもらし
しちゃって...」

「あ...あ...あ、は...あ...あ...
.....か、かあさまあ...」
ふみのおねえさんのながい
ゆびがけいちゃんのおしりの
あなをねちゃんちやと
ほじくりかえます。

「おきなおなかをかかえて、つばめ
ちゃんはもりつけのじゅんびちゅう。
けいちゃんのためにふたりでようい
したとくせいごはん。ごちそうの
かんせいまで、あとひといきです。」

「けーちゃん、もう
ちよいまってね。」

「そうだ、けい。そろそろ
うで、はいるようになった？」
まだなら、つばめといっしょに
つだつてあげる、といいながら
おなかにちからをいれる
にいな
ニイナおねえちゃん。
できたてのまぜごはんが
おしりのあなからかおを
だします。

むりゆりゆ、ぶりゆっ、
むりゆむりゆ、ぶほんっ！
おねえちゃんはこきざみに
あなをしめて、おむすびの
かたちをととのえていきます。

むりゆ、むりゆりゆ
むりゆぶほんっ！

さあ、つばめちゃんもまけていられませんか。
まだおねえちゃんのようにきれいな
おだんごがたにはできなけど、いっしょう
けんめいおしりをつきだしてエサえさざらに
おむすびをもりつけます。

「けーちゃん、けーちゃん。
おへんじは？」←



むっちりとふくれたおしりのあなを
ごはんつぶがこすっていきます。

ぬるぬるのわれめから
おつゆがたれておさらの
なかはもうたいへんな
じょうたいです。←

「んはぁ……あっ……おっ」
ぶほっ、ぶりゅりゅっ、ぶっ
ぶほんっ、むりゅう……っ。
「……ん……はっ……ああ……」
おさらのうえでもじもじと
こしをうごかすつばめちゃん。

「……はぁぁぁ………」あ……」
おおきくおしりをつきだした
つばめちゃんがふるえながらながい
ながいためいきをつきました。

ぶりゅ、ぶちゅる、ぐぢっ、とおもたく
ねばついたおとをひびかせながら
ニイナおねえちゃんはむにむにと
おなかをもんでいます。
おなかのおくのさいごのひとつぶまで
のこさないよう、ちゃーんとしぼり
ださないと。」

「けい。がんばって
つくったから
のこさずたべてね。」

「けーちゃん、おまたせっ。」
「…ほら、けい。
まぜごはんおむすび、
おいしそうですね。」

えさ
けいちゃんのエサざらだけでは
おさまらず、よびのおさまらまで
うめつくした、ほかほかの
ごちそう。

ふたりのおなかのなかでたっぷり
こねられて、ぬるぬるでかてか
ひかっています。
「ほら、けいちゃん。
いただきます、でしょう？」

はっ、はっ、はあ、とだいこうふんの
けいちゃんにふみのおねえさんが
おむすびをさしだします。
「ほら、けいちゃん。…あーくんっ。」
けいちゃんはおっかなびっくりと
いうので、そろりとべろをのぼし
ちいさなかけらをすくいました。

…はむっ、はむはむ、もぐもぐもぐっ。
はむ…はむ…ごっくん。

できたてのおむすびのおしやうゆと
ごまのかおりにまじって、おくち
いっぱいにつばめちゃんとニイナ
ちゃんのアジガひろがります。←





「ぐっぼーい、ぐっぼーいっ。」
 そういつて、けいちゃんにまたがり
 ぐりぐりとおしりをゆらす。
 ニイナちゃん。どろどろのおまたを
 こすりつけられて、けいちゃんの
 せなかはびちやびちやです。←

「にひひっ、おいしい？
 おいしいよね、けいちゃん。」
 「……わ、わうっ、……わううッ！」
 えき
 そういつてエサざらにかおき
 うずめるけいちゃんのお
 またのあいだにはミ
 ぎんいろのまあるい
 かたまりがゆれています。

きらきらひかるぎんいろの
 おりのなかでちぢこまった
 けいちゃんのおちんちんも
 たらたらとよだれを
 たらしてとってもうれしそう。



「あ、おべんといっている。」

「けいちゃんのおっぱいにおかおをよせて、」

「ごはんつぶをぱくりといいはむつばめちゃん。」

「……、わうう……！」

「……、わうう……！」

「おねえちゃんのおっぱいにあわせ、けいちゃん」

「のせなかがびくりとふるえています。」

「けーちゃん、おもらししちゃだめだよ？」

「そういつつばめちゃんが
おみにいきをふきかけた
とたん、けいちゃんのおまは
どろりとごったよだれを
たらしてしまいました。」

「……あ、もう……」
「だめだっていったのに。」

おしまい



■あとかき■

お手にとっていただきありがとうございます。紺あかねです。前回本を出したのは十数年前、ずいぶん間が空いてしまいました。

この間、色々あったようなそうでもなかったような……。ゲームの仕事をさせていただいたり、商業誌に載せていただいたり。

もともと筆が遅いのもあり、きちん本を出せるだけの原稿時間がとれたのは久しぶりです。

近年はfantiaを中心に活動しており、歯抜けちゃんたちの漫画もちょくちょく投稿しています。

次回は未定ですが、また小さい子のお尻を弄る漫画かM向けの何かになると思います。最新の動向は各種SNSを御覧ください。

X : @konakane_
fantia : @499989
pixiv : @konakane



はぬけちゃんとおねえちゃん
ドキドキ アナルクッキング

発行所 : 第八企画
著者 : 紺あかね
連絡先 : konakane118@gmail.com

2025年12月31日 初版発行
印刷 (株)SUNGROUP

よいこのえほんシリーズ

はぬけちゃんとおねえちゃん

ドキドキ



山盛りの食材をお姉ちゃんのお尻の穴に詰め込んでぐちゃぐちゃにかき混ぜたら特製まぜごはんの出来上がり!

大きくお口を開けてさあ召し上がれ♪

あなる
アナル
くつきんぐ
クツキング